

申込方法

◆ 申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

- ◆ 参加申込書 資料編巻末の申込書にご記入ください。
- ◆ 参加申込金 5万円（研修費の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、受諾書、ガイドブック、手続書類一式をお送りします。

◆ 申込先及び振込先

◆ 申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号
株式会社 南日本カルチャーセンター

◆ 振込先

三井住友銀行 鹿児島支店 普通口座 828282
肥後銀行 鹿児島支店 普通口座 1055554
南日本銀行 本店 普通口座 230800
鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 3138706
沖縄銀行 本店 普通口座 1278721
郵便振替口座 02010-8-32878

◆ 口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。
※残金は出発日前日から起算してさかのぼり、21日目にあたる日より前にお支払いください。

◆ 参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

6月17日から6月27日まで	50,000円
6月28日から起算して研修開始3日前まで	研修費用の20%
研修開始前々日より研修開始当日の研修開始前まで	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の100%

◆ お申し込みから出発まで

① お申し込み

参加申込書と参加申込金5万円の2点をお送りください。センターより受諾書、ガイドブック、手続書類一式が送られ、契約の成立となります。



② 事前学習

参加者はガイドブックに沿って、英文を覚えたり、日米に関する下調べをしてください。



③ 手続書類の提出

手続書類に基づいて、グループ編成やホストファミリーの決定が行われますので、指定された期日までにご提出ください。



④ 渡航手続き

有効な旅券（パスポート）をお持ちでない方は、旅券取得の手続きを行ってください。日本・米国の税関申告書作成やESTA申請手続き等は、センターが行います。



⑤ 残金の支払い

研修費用のご案内を受け取られてから、残金をお支払いください。



⑥ オリエンテーション

ホームステイの学習の仕方、危機管理の指導、生活上の注意、準備するものなどを説明します。



⑦ 出発

7月下旬から数日に亘り、グループごとに出発します。



⑧ 帰国

帰国して数週間内に、異文化体験報告会が開かれます。

プログラム参加者数

県別	小・中学生	高校生	大学生	合計	県別	小・中学生	高校生	大学生	合計
福岡県	66	60	67	193	宮崎県	1921	443	95	2459
長崎県	387	182	38	607	鹿児島県	4380	1628	234	6242
佐賀県	813	244	50	1107	沖縄県	1157	848	111	2116
大分県	890	444	45	1379	その他	78	29	12	119
熊本県	1788	918	99	2805	合計	11480	4796	751	17027

17,027人が参加しました！



～自立への旅立ち～

2024年 アカデミックホームステイプログラム

詳細は資料編をご請求ください

お問い合わせ・お申し込み先

旅行企画・実施 (株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

TEL 099-257-4333(代表) お問い合わせ専用 ☎0120-212122

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者 平原靖子

ホームページ <http://www.mncc.jp>

募 集 内 容

研修目的

中学生、高校生、大学生を対象として、アメリカの一般家庭に家族の一員として約3週間滞在し、家庭生活、学校生活、市民生活のそれぞれを体験しながら、言葉と心のふれあいにより、幅広い視野、国際感覚、語学力の向上を図り、研修生の「早期の自立を目指す」プログラムです。

研修参加資格

- ◆日本国籍を有する中学生、高校生、大学生に限る。
- ◆心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること（詳細は資料編参照のこと）
- ◆異文化や英語に強い興味と関心があり、英語で積極的に会話を行う意欲のあること
- ◆参加者、保護者とも配布された資料を理解し、センターの指示、決定事項を遵守できること
- ◆参加者、保護者ともプログラムの趣旨を理解していること
- ◆オリエンテーションに参加すること

研修期間

2024年7月下旬から約3週間
※滞在地（行先）と研修期間（出発日と帰国日）は、グループで異なり、研修生の語学力や学年を考慮して、センターで決定いたします。

研修費用

618,000円（那覇空港発着料金）
598,000円（福岡空港、鹿児島発着料金）

募集定員

200人
※但し、定員になり次第、締め切ります。

ホームステイ地

アメリカ合衆国（ワシントン州、オレゴン州、カリフォルニア州を中心として、中西部までに亘る選定された地域）

申込締切日

2024年5月20日（但し、定員になり次第、締め切ります。）

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アジアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空

研修費用の範囲

◆研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2. 米国到着後、ステイ地までの交通費及び帰りの空港までの交通費
3. 期間中の授業料、及び研修教材費
4. 期間中の午後に計画されたプログラムの交通費、入場料、施設使用料
5. 終日研修における交通費、入場料見学費
6. 米国公益教育法人の運営費用
7. 米国内における団体行動中の費用
8. 現地教師の期間中の人件費

9. オリエンテーション、異文化体験報告会費用
10. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事は除く）
11. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費一切
12. 引率指導者、センター職員同行費用一切

※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◆研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成、携帯品・別送品申告書作成料、ESTA代理申請料や有効性確認などの費用 9,000円
2. ESTA申請料 21ドル（有効なESTAの所有が確認された際は不要）
3. パスポート印紙代……パスポート所持者は不要
5年間有効な旅券（12歳以上） 11,000円
10年間有効な旅券（18歳以上） 16,000円
4. 米国の出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料 約 9,000円
5. 日本の空港施設使用料や旅客保安サービス料、国際観光旅客税、航空保険特別料金、空港税 約 6,000円
6. 燃油サーチャージ料（約86,480円）
（2024年1月31日現在）
7. 任意の海外旅行保険料
8. 個人的なお小遣い
9. 超過航空受託手荷物料金

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者（プログラムアドバイザー）が国際線出発空港から同行します。期間中はセンター職員と引率指導者が連絡を取り合いながら、適切なスケジュールや活動内容の実施、運営に関する管理監督を行います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2024年1月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起ることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2024年6月20日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日のレートが1ドル155円以上の場合や、110円以下の場合、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研 修 内 容

研修内容概略

原則として、1グループ約25人の研修生と日本人引率指導者1人で編成し、出発から帰国までこのグループ単位で活動します。ホームステイ地到着後は、現地教師が2人グループに合流し、以下のような活動を行います。

現地教師

現地では原則として、1グループにつき2人の米国人教師（ティーチャーコーディネーター）が付き、研修生のお世話をします。午前中は授業を行い、午後の活動や終日研修、ホストファミリーのことで、スケジュールのことで、プログラムに関するあらゆることに、この先生が、引率指導者同様、研修生のためにあらゆる相談に応じてくれます。

引率指導者

引率指導者はプログラムアドバイザー（PA）と呼ばれ、グループのリーダーとして日本を出発し帰国するまで、参加者の指導、助言にあたります。現地でも参加者と同じステイ地に滞在しており、基本的に、全てのグループ活動に同行します。主な役目は、研修生の生徒指導であり、カウンセラーであり、プログラム助言者です。決して、研修生の通訳ではありません。

ウェルカムパーティーとさよならパーティー

アメリカ到着後一両日中に、ホストファミリーがホストとなって歓迎する趣旨の「ウェルカムパーティー」が開かれ、帰国前日の夜に、研修生がホストとなって、ホストファミリーに感謝を表す「さよならパーティー」が開かれます。

授 業

平日の午前中9時から12時までの3時間、アカデミックセンターで、二人の現地教師による授業が行われます。カリキュラムはテキストが使われ、アメリカの生活習慣や家庭生活について学習し、市民生活や生活習慣、文化などを幅広く学習します。例えば、「アメリカの食事」に関する単元では、典型的なアメリカの家庭の朝食や夕食が紹介され、マナーや作法なども学習でき、学んだことがホストファミリー宅での家庭生活に即、活かせるようになっています。「祝祭日」の単元では、アメリカのイースター祭やハロウィーン、クリスマスなどのしきたりや過ごし方などを学習し、逆に研修生は、日本のお正月や七五三、節分や節句、雛祭りなどについてホストファミリーに日本の祝日を教えるなど、多種多様な内容が盛り込まれ、そのための準備は大変ですが、本当に学ぶ意欲のある生徒や英語力の高い研修生にとっては、最高の学びの場となることでしょう。また、授業の最後には宿題も出され、帰宅後、ホストファミリーに質問しなければ、分からないような宿題内容となっています。ホームステイ当初の話題のない時期、そうすることによって、ホストファミリーと研修生の会話が促進するようにセンターは仕掛けているのです。

ランチタイム

授業が終わって、正午から午後1時までには昼食となります。毎日の昼食はホストファミリー宅から弁当を持参します。日本のお弁当とは異なり、サンドウィッチや果物、飲物、スナック類がアメリカの昼食となります。

社会見学と文化交換会とレクリエーション

平日の午後（1時から4時までの3時間）には、社会見学や文化交換会やレクリエーションなどの活動が予定されています。社会見学は、ホームステイ地区の様々な産業や地域施設を見学し、地域を知る絶好の機会です。文化交換会は地域の住民を招待し、日本文化を紹介し、アメリカ文化との比較を通じて、学びあう活動です。レクリエーションは水泳やスポーツ活動などが予定されています。

ボランティア活動

午後の活動の一環として、様々なボランティア活動に取り組みます。その活動を通して寄付金（Donation）を募り、その基金でアメリカの子どもたちを日本に招待するジャパンホームステイという活動を行っています。主な活動内容は、カーウォッシュやガレージセールなどです。ガレージセールでは日本から不用品を持って行き、自分で料金を決めて販売します。

終日研修

期間中3回、終日研修があります。これは一日バス遠足のようなもので、ホームステイ地区周辺の名所、旧跡などを訪問します。

週 末

基本的に、土曜日、日曜日の週末には、グループ活動は全くなく、予定されたスケジュールもなくフリーとなり、ホストファミリーと自由に過ごす時間になります。ホストファミリーによって過ごし方は異なりますが、「ショッピングに行くとか、観光地に行くとか、キャンプに行く」などと考えがちですが、自分のホストファミリーと自宅で、「会話したり、ゲームをして一緒に過ごす」などの体験をした方がより親密になり、有意義でしょう。

異文化体験報告会

体験後、「何を学んだか」についての報告会で、研修の総括を行います。多くの研修生が陥り易い問題点、及び傾向を列挙説明し、帰国後の研修生の日常生活や学校生活がスムーズに再適応できるように指導します。最後に、グループ活動文集が配布されます。

修了証書

プログラムが終わったら、各先生方の署名入り修了証書が、ひとりひとりに渡されます。

1週間の基本的なスケジュール

TIME DAY	9:00AM	12:00PM	1:00PM	4:00PM
月	アカデミック	昼 食	社会見学	帰 宅
火	センターで授業		文化交換会	
水	終 日 研 修			
木	アカデミック	昼 食	レクリエーション	
金	センターで授業		ボランティア活動	
土 日	週末は授業はなく、ホストファミリーと過ごします。			

※この1週間の基本的スケジュールを繰り返します。

実際の具体的なスケジュールはオリエンテーション時に配布します。